

2023年度 留学生入試2期 試験問題

【問題用紙】

日本語

受験番号					氏名

1 次の文章(新聞記事)を読み、以下の質問に答えなさい。

日常生活や仕事のやりとりで、よく耳にするのが「すみません」「申し訳ありません」といった謝罪^①の言葉。必ずしも謝る^②場合だけでなく、相手に感謝^③する場面でも頻繁^④に使われています。なぜなのか。人づきあいの心理学が専門の相川充・東京学芸大名誉教授(67)に聞きました。

人づきあいの心理学を研究してきました。イギリスに研究員として派遣^⑤された時に、「すみません、すみません」という態度の自分に気づきました。イギリス人は(ア)と構えているのに。

他人に何かを(イ)とき、ありがたいとか申し訳ないとか、何らかの気持ちが人間にはわき起こります。日本人は、こうした場面で「すみません」「申し訳ありません」と、謝罪の言葉で対応することが多いのです。

人に何かをしてもらったとき、大きく分けて二つの要素が、相手への気持ちの大きさを決めると心理学では考えられています。

一つ目は、自分の得た利益の大きさです。相手が何かをしてくれると、「うれしい」とか「助かった」とか思いますよね。こういう思いを、経済学の用語を借りて利益と呼びます。もう一つは、相手が自分のために費やした時間や労力、金銭などの負担の大きさです。この相手側の負担も経済学にならい、コストと呼びます。

この関係は、数式で「 $I=B+C$ 」と表せます。「I」は相手への気持ちの大きさ、「B」が benefit で自分の利益、「C」が cost で相手の負担です。つまり、自分の利益と相手のコストの大きさの合計が、相手への気持ちの大きさになるということです。この関係は、世界の主な国で同じだということが心理学の調査や実験で確認されています。

ただ、アメリカで行われた研究の論文を読むと、「B」の自分の利益が重視される

という結果でした。欧米の論文を読めば読むほど、日本人とは違うなと思ったのです。そこで調査や実験でデータを集め、日本人は(ウ)を重視しているということを示した論文を、1990年に発表しました。

データでは、全体でみても男女・職業などの属性別にみても、日本人は「相手のコスト」を重視していました。つまり、「自分のために労力を(エ)な」と思うのです。

こうした集団による違いを加味すると、先ほどの数式は「 $I=X1B+X2C$ 」と表せます。「X1」と「X2」に、それぞれの集団における重要度が入るわけです。アメリカなど個人主義の国では、自分の利益の大きさが重視されるので、「(オ)」です。これに対し、集団に重きを置く集団主義の文化では、相手が負担したコストを重視して「(カ)」となります。

以前は、アジアには集団主義が多いと言われていました。ところが最近の調査では、中国人も韓国人も個人主義的な傾向を示しています。いまでは、日本人だけが集団主義の傾向を残していると言ってもよいぐらいです。

集団主義の文化では、集団がまずあって、自分がいる。だから、お互い自分を譲り、相手を立てる。相手(キ)と、仕返しされるかもしれない。譲ってしまった方が、長期にわたってその地域で生きやすく、子孫も残しやすい。

だから、相手に何かしてもらったら「そんなに大変な思いをさせてすみません」という「申し訳ない」という気持ちが先に来るわけです。それが習慣となり、「すみません」と口にする。今では美德や道德だけではなく、(ク)謝っておこうという戦術的な意味合いも持ちながら、ビジネスの場面でも「すみません」が気軽に使われるようになっていきます。

形式的な「すみません」なら、いくら繰り返しても心理的負担はないでしょう。ただ、本当に感謝の思いがあるときに「すみません」を繰り返していると、「相手に迷惑ばかりかけている」という気持ちが募り、心の重荷が増えていきます。「自分は人に何かを(ケ)ばかりだ」と思ってしまふ。でも、人は一人では生きられない。生きていく上で、他人に何かをしてもらうことは避けられません。

それなら、感謝したい場面では、きちんと「ありがとう」と言えばいい。「すみません」を「ありがとう」に変えてみませんか。感謝を伝えるのは本来、ポジティブな場面です。「すみません」と言ってネガティブに自分を下げることではなく、「ありがとう」と言ってポジティブを体験することが大事なんです。

筑波大時代に感謝行動について研究したところ、「ありがとう」という感情を相手に伝えることで、満足感や自尊心が高まることがわかりました。大げさな言い方になりますが、「ありがとう」と言うことは、ポジティブな刺激を自分と相手に与える機会を増やすことになるんです。寝る前に「きょう一日、何回ありがとうと言ったか」と考えると、幸福感が増します。きょうも一日、楽しく過ごしたんだなって思える。

別の効果もあります。「すみません」と言っていた人が「ありがとう」と言うことで、周りの人も変わっていきます。感謝を伝えられた人は、それが良いことなのだと感じ、同じことを他の人にもするようになるんです。それは巡り巡って、その人の心も変えるようになります。こうして、人と人の関係も変わってきます。

いきなり職場での実践が難しければ、家族や友人など、まずは身近な人に対して^αやってみてはどうでしょう。効果的な感謝の伝え方は、単に「ありがとう」だけではなく、「(コ)」と、何に対してありがとうと言っているのか具体的に入れることです。自分も感謝を思い出しやすくなるし、相手も何が感謝されたのかを理解しやすくなります。そして「(サ)」「助かった」など、ポジティブな感情も含めて伝える。

茶道や武道は、まず形（かた）を学びます。最初は理由はわからなくても、とにかく形を身につける。すると、いずれその精神も理解できるようになる。日常生活にも同じことが言えます。行動を習慣化すると、いずれその行動が人格に影響を与える。うつ病などの治療として行われる認知行動療法は、そうした考えに基づくもの^βです。心の病気になっていなくても、ソーシャルスキルとして実践することで、心の負担を減らすことができます。

日本は謝罪文化の国です。謝罪することが習慣になっており、ひとまず謝罪しないことには話が始まらない。だからこそ、なんです。「(A)」と言える場面では、「(B)」ではなく「(C)」に変えてみる。こうすることで、感謝と謝罪を区別でき、周囲にも自分の心にも変化があるはずです。

(<論の芽>東京学芸大名誉教授・相川充さんに聞く・朝日新聞デジタル(2022.6.2)より)

承諾番号：23-0751

1. _____①～⑤の漢字の読み方を答えなさい。

2. (ア)～(サ)に入る最も適切なものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

ア： 1.どっしり 2.すっきり 3.きっぱり 4.はっきり

イ： 1.してあげた 2.してもらった 3.してくれた 4.させられた

ウ： 1.「B」の相手の利益 2.「B」の自分の利益
3.「C」の相手の負担 4.「C」の自分の負担

エ： 1.使ってしまった 2.使われてしまった
3.使わせてしまった 4.使わされてしまった

オ： 1. $X1 > X2$ 2. $X1 < X2$ 3. $X1 = X2$ 4. $X1 \leq X2$

カ： 1. $X1 > X2$ 2. $X1 < X2$ 3. $X1 = X2$ 4. $X1 \geq X2$

キ： 1.に譲る 2.に譲られる 3.を押しつける 4.を押しつけられる

ク： 1.とりいそぎ 2.とともに 3.と同時に 4.とりあえず

ケ： 1.してあげて 2.してもらって 3.してくれて 4.されて

コ： 1.～してあげて 2.～してくれて 3.～されて 4.～させられて

サ： 1.こわかった 2.ドキドキした 3.いやだった 4.うれしかった

3. (A)～(C)に、「ありがとう」か「すみません」かのどちらか適切な方を入れなさい。

4. 下線 α まずは身近な人に対してやってみてはどうでしょうとありますが、何を「やってみては」と言っていますか。本文の言葉を使って説明しなさい。

5. 下線 β そうした考えとありますが、どのような考えですか。本文の言葉を使って説明しなさい。

6. 次の①～⑤の文のうち、本文の内容と合っているものには○、合っていないものには×を付けなさい。

①日本人は「ありがとう」ではなく、もっと「すみません」を使う方がいい。

②日本人の「すみません」をたくさん使う傾向は、日本人が誇っている習慣だ。

- ③相手に何かをしてもらうということは相手に何らかの負担をかけることになるのだから、「すみません」を使うのは当然のことで、もっと多くの人が「すみません」を使うようになるといい。
- ④日本人が「すみません」をよく使うのは、集団主義の文化と関係がある。
- ⑤できるだけ「ありがとう」を使うことで、言った方も言われた方もポジティブな刺激を受けることになるので、「ありがとう」を使うようにするといい。

2 下線に適切な表現を解答用紙に書きなさい。

①何度も何度も謝ったのに、1。

②この大学の学生である以上は、2。

③どんなに急いだとしても、3。

2023 年度 留学生入試 2 期 試験問題

【解答用紙】

日本語

受験番号					氏名

1

1. ① ()

② () る

③ ()

④ ()

⑤ ()

2. ア () イ () ウ () エ ()

オ () カ () キ () ク ()

ケ () コ () サ ()

3. A () B () C ()

4. ()

5. ()

6. ① () ② () ③ () ④ () ⑤ ()

2

1. ()

2. ()

3. ()